

区市町へのヒアリング結果

令和3年8月18日

東京都 都市整備局

2.2. 現状と課題 区市町へ交通課題についてヒアリング結果

区市町	交通課題に関する声
<p>中央区 (中枢広域拠点域)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 荷捌き車両など路上に駐停車している車両による安全で円滑な交通の阻害 ■ 交通量の多い路線は混雑により、交通渋滞が慢性化しており、将来個人所有の自動運転車が無秩序に普及するとさらに交通渋滞が悪化する可能性がある。 ■ コミュニティサイクルなど自転車利用のニーズはあるが、交通結節点となる駅周辺に駐輪場やサイクルポートを設置可能な用地がない。 ■ 道路のバリアフリー（段差解消）の確保 等
<p>杉並区 (新都市生活創造域)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 区内の東西方向は鉄道各線が通っているが、南北方向の公共交通はバス路線に依存 ■ 区が運営するコミュニティバス3路線の経営状況が赤字であり、交付金（運行経費の不足分）は全路線で増加傾向となっているが、ダイヤ改正・路線追加要望が絶えない。 ■ 車両の通行にも支障がある狭隘道路が多く存在し、狭隘道路での自転車事故やバス路線を設定できない路線がある。 ■ 歩行環境、自転車通行環境の整備を区民から求められている。 ■ 将来推計では2040年には高齢世帯の6割が単身者となり、免許返納高齢者などの移動手段がなく、外出頻度が低下する可能性がある。 等
<p>多摩市 (多摩広域拠点域)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ バスの運行時間や定時性に関する要望があり、居住地からバス停までの移動についても高低差が大きいなど公共交通にアクセスしにくい地区が市内に広く存在 ■ バス利用者の減少、更に運転手不足など、公共交通を取り巻く状況は悪化 ■ バス待ち環境やバスの運行情報について市民から改善要望がある ■ 交通課題解決のため自動運転技術の導入に向けた検討しているが、市だけでは技術的・財政的に限界があり都や国から支援が必要 等
<p>八丈町 (自然環境共生域)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 町内を周遊する主要道路を運行する町営バスの運行本数が少なく自家用車がないと移動が不便 ■ 主要道路に出るための町道は幅員が狭く、路線バスの乗り入れができないため、居住地からバス停まで自家用車以外での移動が困難 ■ 町営バスやタクシーの乗務員の高齢化により将来の担い手不足しており、町営バスは経営も厳しい。 ■ 観光シーズンの繁忙期は、タクシーやレンタカーが不足 ■ 交通課題解決のため自動運転技術の導入を検討しているが、町内の拠点間は距離があり、また主要道路は片側一車線のため速度の遅い自動運転車では、他の交通を阻害してしまう 等